

東成瀬 図書館だより

〒019-0801

秋田県雄勝郡東成瀬村田子内字上野 8-1

2022.5月号 No.82

発行 東成瀬公民館図書室

TEL 0182-38-8711 FAX 0182-38-8712

E-mail narusejidoukan@carol.ocn.ne.jp

☆令和4年6月の特集&新着案内 〈一般書〉

◎ 「食と農 ～育てる・収穫する・食べる～」

野菜づくりの極意	市川 啓一郎
野菜をすんごくおいしく食べるレシピ	元気ママ
窓辺 de 採れたて!ミニ菜園	竹村 久生
あらすじ 論語と算盤	渋澤 健
マスカレード・ゲーム	東野 圭吾
おしゃべりな部屋	川村元気 近藤麻理恵
ロシア発世界恐慌が始まる日	渡邊 哲也
独裁者プーチンはなぜ暴挙に走ったか	池上 彰
子宝船 ～きたきた捕物帖(二)～	宮部 みゆき
オトナ女子のカラダとココロのセルフケア	石原 新菜

〈児童書〉

◎ 「SDGs ～未来を考える絵本～」

たんぼレストラン	はやし ますみ
ポリぶくろ、1まい、すてた ミランダ・ポール エリザベス・ズーノン	
ペンギンかぞくのおひっこし	刀根 里衣
おかえり、ウミガメ	高久 至
みどりのほし	林 木林
ぞうとともだちになったきっちゃん	入江 尚子
つかまえた	田島 征三
ゴリラさんは	北村 裕花
ぼくは川のように話す	ジョーダン・スコット
ふしぎなヒーローやさん	みやにし たつや

◇今月のオススメの一冊◇

『 図解でよくわかる 病害虫のきほん 』

有江 力 / 監修



植物病害虫、植物と病原や害虫とのせめぎ合い、病害虫から植物を守るための化学農業・生物防除、その他の技術、民間の伝承技術まで。あらゆる農業生産の現場で重要な「病害虫防除」について、様々な面から解説した一冊。

『 みずとは なんじゃ? 』

かこ さとし / 作



あさおきて、かおをあらうみず。うがいをしたり、のんだりするみず。みずとは、いったいどんなものなのでしょうか？暮らしの中で出会う水を通して水の不思議な性質を知り、自然環境に目を向けるきっかけとなるような、科学する心をはぐくむ絵本。

※ 電話予約もできますので、お気軽にお尋ねください

☆図書室利用案内☆

6月の休館日

6/5(日) 19日(日)

開館時間

午前9時30分～午後5時30分

休館日

・第1、3、5日曜日 ・祝祭日
・年末年始

図書の貸出

10冊まで

視聴覚資料

3点まで (DVD・CD など)

貸出期間

3週間

★休館日の本の返却はブックポストへお願いします★



【お知らせ】

読みかたりグループ「つくしんぼ」
文科大臣より表彰されました!!

読みかたりグループ「つくしんぼ」が本年度、「子どもの読書活動優秀実践団体」として文部科学大臣表彰を受け、先日、県教育庁で行われた受賞報告会に行ってきました。



～6月は環境月間～

最近よく耳にする SDGs—みんなが安心して地球で暮らし続けられるための目標のこと。まずは身近な環境のことから考えてみませんか？

児童書の特集コーナーに関連図書を展示しています。



わたしのとっておきの一冊

つくしんぼ会員 **岡 光 さん** からのオススメ



『犠牲〜サクリファイス〜』

柳田 邦男 / 著

文藝春秋

柳田邦男さんの本に出会ったのは、20年も前だったでしょうか、『ガン回廊の朝』というノンフィクションでした。大好きな叔母をガンで亡くしたこともあり、手にした本でした。その後忘れていたのですが、ある日“犠牲”というタイトルにハツとして手にしたのがこの本です。

サブタイトルは“わが息子・脳死の11日”。精神的に病んでいた柳田さんの次男が自死を図ったものの、脳死となります。自分の育て方に「なぜ？」と自問自答しながら、それでも息子の心に寄り添い、語りかけた11日間。「人の役に立ちたい…」と語っていた息子の為に臓器移植を考えますが、心臓は動いているし、語りかけると幸せそうな顔になるし、決心できません。人の死をどう捉えればいいのかという大きな問いかけをされました。

息子を亡くして数か月、柳田さん自身も閉じこもってしまいますが、そんな彼を助けてくれたのは“絵本”との出会いでした。何気なく手にした絵本によって少しずつ立ち直った彼が後日執筆した『悲しみは真の人生の始まり』も読んでみました。自らも大事な人を失う体験の最中、柳田さんを思い出しました。自死という、柳田さんと息子との突然の別れ…。同様に自分に訪れた、ちょっと診てもらおうと病院に行った翌日の実際の別れを、私も受け止めることができずでした。

悲しみの中でどんな呼吸のしかた、生活のしかたができるのか…この本も茫然自失としている時よりすべてが健康な時に会いたい本であり、生きることを考えさせられる本です。

読みかたりグループ



『つくしんぼ』コーナー

おはなし会は
6月4日(土)
10:30~11:00
です

会員のつばやき

会員 **由利 英治 さん**

私の知り合い(卓球仲間)にこんな方がいます。「私は本は買わずに図書館で借りる。今まで借りて読んだ本は金額にしたら100万円は超えていると思う。書店に並ぶ新刊も時期をずらせば借りられる。しかも、しっかり揃えられている。これを利用しない手はない」と。なるほど、その通り。図書館を利用する最大のメリットかもしれません。

その人は卓球も上手です。試合の駆け引きもうまいのです。いつも思うのは、たくさん本を読んでそこから人間としての豊かさを得ていて、それが強さにつながっているのではないかと。そしてたぶん一流のアスリート達もまた、本をたくさん読んでいるであろうということです。

普段アスリートと読書をあまり結びつけて考えたりしないかもしれませんが、そんなことを思う今日この頃です。



話を戻しますが、図書館の本はもちろんタダで借り、読むことができます。しかもその人の目的に応じて人間性を豊かにする。こんなに素晴らしい、有益な図書館の存在を多くの人に認識してほしいと常々思っています。今日も私は自分の図書館で立ち読み状態。どの本も「人間の勉強」につながると思いながら…。

